

昭和五十四年六月招集

第二回館山市議定会定例会會議錄

館山市議會

目次

○第一号(六月十八日)

開 会 三

議長の報告 四

議案の配付 四

会議録署名議員の指名 四

会期の決定 四

会議日程の決定 四

議案第三十号(議案第三十二号(提案理由の説明)) 四

延 会 六

本日の会議に付した事件 七

○第二号(六月二十日)

開 議 一一

行政一般通告質問 一一

神田 守隆君の質問、当局の応答 一一

流山源次郎君の質問、当局の応答 一六

五十嵐 昇君の質問、当局の応答 二三

安西 益男君の質問、当局の応答 二七

石井 武敏君の質問、当局の応答 三一

栗原 一雄君の質問、当局の応答 四三

散 会 四九

本日の会議に付した事件 四九

○第三号(六月二十一日)

開 議 五三

議案第三十号(議案第三十二号) 五三

石井 武敏君の質疑、当局の応答 五四

神田 守隆君の質疑、当局の応答 六一

委員会付託 六二

請願第一号、請願第二号 六二

趣旨説明 六二

委員会付託 六三

延 会 六三

本日の会議に付した事件 六四

○第四号(六月二十五日)

開 議 六七

議案第三十号 六七

総務委員会委員長報告 六七

神田 守隆君の討論 六八

採決 六九

議案第三十一号 六九

文教民生委員会委員長報告 六九

採決 六九

議案第三十二号 七〇

建設経済委員会委員長報告 七〇

採決 七〇

請願第一号、請願第二号 七一

建設経済委員会委員長報告 七一

神田 守隆君の討論 七一

採決 七二

閉	七二
会	七二
本日の会議に付した事件	七二

第二回館山市議定会定例会議録（第一号）

一、昭和五十四年六月十八日(月曜日)午前十時

一、館山市役所議場

一、出席議員：二十九名

一番 神田 守隆	二番 石井 謀
三番 網島 憲治	四番 横溝 功
五番 福原 勲	六番 鈴木 活龍
七番 古賀 礼四郎	八番 石井 昌治
九番 松下 正己	一〇番 穴戸 寿夫
一番 林 豊	一二番 栗原 一雄
一三番 近藤 好雄	一四番 渡辺 昭夫
一五番 伊藤 幸太郎	一六番 押元 稔
一七番 黒川 平治	一八番 流山 源次郎
二〇番 石井 武敏	二一番 吉田 勇治郎
二二番 藤田 益治	二三番 菊井 敏博
二四番 和田 一郎	二五番 五十嵐 昇
二六番 伊賀 多朗	二七番 石井 正
二八番 安沢 徳順	二九番 安西 益男
三〇番 山口 康	
一、欠席議員 一名	
一九番 石井 輝久	
一、出席説明員	
市 長 半沢 良一	助 役 小倉 澄男
収入 役 長谷川 広治	市長公室長 汐崎 政光
総務部長 鈴木 弘道	経済部長 太田 博雄
民生部長 鈴木 力	水道課長 庄司 利光

教育委員会 関 和雄 教育委員長 安田 豊作
委員 鈴木 正 事務局長 渡辺 弘
委員 齊藤 一男 監査事務局長 角田 巖
農業委員会 秋山 萬次 事務局長 石原 齊
一、出席事務局職員
事務局 局長 高尾 豊 事務局 佐石 井 敏夫
書 記 兵藤 恭一 書 記 鈴木 哲
書 記 庄司 徹 書 記 嶋田 範夫

一、議事日程(第一号)
昭和五十四年六月十八日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

議案第三十号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第三十一号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第三十二号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

開 会 午前十時六分開会

議長(石井 正君) 本日の出席議員数二十九名、これより昭和五十四年第二回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開き

ます。

議長 の 報 告

○議長(石井 正君) 本定例会議案審議のため、地方自治法第二百一条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がございましたので御了承願います。

なお、監査委員より二月乃至五月実施の監査結果及び財団法人館山市開発公社の経営状況説明書、財団法人館山市環境保全公社の経営状況説明書が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議 案 の 配 付

○議長(石井 正君) ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせていただきます。配付漏れはございませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長(石井 正君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

二番議員石井 謙君、二八番議員安沢徳順君、以上両君を指名いたします。

会 期 の 決 定

○議長(石井 正君) 日程第二、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本六月十八日から六月二十五日までの八日間ということであります。

お諮りいたします。会期を八日間と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よつて会期は六月十八日から六月二十五日までの八日間と決定いたしました。

会 議 日 程 の 決 定

○議長(石井 正君) 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よつて会議日程は決定いたしました。

議 案 の 上 程

○議長(石井 正君) 日程第四、議案第三十号乃至議案第三十二号の各議案を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明を求めます。

提案理由の説明

(市長半沢良一君登壇)

○市長(半沢良一君) 本日、ここに第二回市議会定例会を招集いたしましたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることにいたしました。

その前に、一言お祝いの言葉を申し上げたいと存じます。

このたび、千葉県議会議長から、林 豊議員、栗原一雄議員、近藤好雄議員、渡辺昭夫議員、流山源次郎議員、石井輝久議員、石井武敏議員、和田一郎議員がそれぞれ永年勤続自治功勞の表彰の榮に浴しましたことは、まことに御同慶にたえません。

ここに、日ごろの御尽力に対し感謝いたしますとともに心からお祝いを申し上げ、今後とも市政伸展のため御支援、御協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日上程いたします案件は一般議案三件であります。

まず、議案第三十号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてであります。その前に本年度本算定の基礎となります調定見込額の算出について先に御説明いたします。

昭和五十三年度国保会計は去る五月三十一日出納閉鎖され、その結果六千六百三十八万余円の差引残金を生じ、昭和五十四年度へ繰り越すことができました。

そこで、この繰越金の処分でございますが、六千百万円を本算定に際し国保税軽減の原資とするともに、歳入におきまして、国庫支出金等二千五百万円の増収が見込まれることが推計されますので、これを合わせ八千六百万円を税の軽減に充當したいと思

うのであります。

この結果、当初予算で計上してあります現年度課税分七億五千百七十一万六千円から八千六百万円を減額した額六億六千五百七十一万六千円を予算額とし、収納割合を勘案いたしまして調定額六億九千七百八万五千円を見込んだわけであります。

本年度の本算定による調定見込額を六億九千七百八万五千円とするには、課税限度額の切捨額二億八百四十五万六千円、低所得者に対する第十二条の軽減額千二百七十七万二千円、それらの額を見込み合計九億千八百三十一万三千円を課税して、はじめて六億九千七百八万五千円の調定が可能ということになるわけであります。

また、所得割りの算出基準となる市民税所得割り総額は一億八千三百三十八万五千円、資産割りの算出基準となる固定資産税総額は二億二千九百六十八万四千円であります。

被保険者総数は二万五千八百二十四人、被保険者世帯数は九千四百世帯で本年度の配分割合で試算し、案分率を決定するわけであります。この結果、所得割り百分の二百二十、資産割り百分の五十、被保険者均等割り九千九百六十円、世帯別平等割り一万五千七百二十円となります。

それでは、改正条例に従つて順次御説明いたします。

第二条の改正は、国民健康保険税の課税限度額の規定であります。が、医療費の上昇、被保険者の所得の増加等に伴い、応能負担の面から被保険者間の負担の均衡を図るため、地方税法第七百三条の四第四項の改正により十九万円を二十二万円に引き上げようとするものであります。

第三条の改正は、所得割りの案分率について百分の二百十を百分の二百二十に引き上げようとするものであります。

第五条の改正は、被保険者均等割りを一人につき、六千七百二十円を九千九百六十円に引き上げようとするものであります。

第五条の二の改正は、世帯別平等割りを一世帯につき、一万千六百四十円を一万五千七百二十円に引き上げようとするものであります。

第十二条の改正は、国民健康保険税の納税義務者のうち低所得者層の軽減であります。国民健康保険税の納税義務者及びその世帯に属する被保険者の所得の合算額が一定額以下の場合における減額の規定について、個人の市民税の基礎控除の額に相当する金額に被保険者の数に応じて加算する金額を世帯主以外の被保険者一人当たり十六万円を十六万五千円に引き上げ、一号該当については、一人につき三千四百六十円を四千四十円に、一世帯につき五千五百五十円を六千九百九十円に、二号該当については、一人につき二千三百十円を二千六百九十円に、一世帯につき三千七百円を四千六百六十円に引き上げようとするものであります。

附則第五項の改正については、住民税のみなし法人課税の特例が昭和五十九年度まで延長されたことに伴い、国民健康保険税についても、昭和五十九年度まで延長しようとするものであります。附則については、その施行期日を公布の日からとし、適用区分については、昭和五十四年度分から適用するものとし、昭和五十三年度分までの国民健康保険税については従前のとおりとするものであります。

次に、議案第三十一号館山市青年館の設置及び管理に関する条

例の一部を改正する条例の制定についてであります。これは、公の施設として完成した犬石青年館について、その名称及び位置を条例別表中に新たに加え、適正な管理、運営を図ろうとするものであります。

次に、議案第三十二号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。市営住宅の所在位置中、市有土地に係る笠名無番地について地番設定ができたので、条例別表中、位置をそれぞれ改正しようとするものであります。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（石井 正君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前十時十七分延会

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて本日はこれにて延会することに決しました。

明六月十九日は議案調査のため休会、次会は六月二十日午前十時開会といたします。その議事は通告による行政一般質問といたします。

なお、議案質疑通告の締切日は六月二十日正午まででありますので申し添えます

○ 本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、会議日程の決定

一、議案第三十号乃至議案第三十二号

